

# 市民協働事例集 2014



岡崎市

## 乙川及び支流の清掃と環境保全監視啓発活動

### 実施主体

【行政】 市民生活部大平支所・東部支所

【協働相手】 乙川を美しくする会

●分野 環境保全

●期間 昭和 47 年度～

●形態 事業協力

●予算 平成 24 年度：0 円 平成 25 年度：0 円

**事例のポイント!!：流域住民・協力者が一体となって乙川の河川環境の保全を図る**

### ◎協働に至る経緯と背景

乙川を美しくする会は、男川・美合・緑丘・竜谷・藤川・山中・本宿・秦梨・生平各学区及び小豆坂学区の一部の町総代を中心として、乙川及びその支流を美しくするため昭和 48 年 1 月 27 日に設立されました。

平成 25 年度現在、乙川及びその支流の住民約 15,550 世帯と地域団体が活動しています。また、活動の趣旨に賛同した企業からの寄付を受けるなど広く地域社会からのサポートを受けています。

河川環境の保全という地域課題を解決するための地域活動が今後も継続していくために、市が事業協力を行うこととなりました。また、河川パトロールの広報車での協力などを行っています。

### ◎事業内容

- 河川草刈清掃活動などの環境整備活動
- 河川パトロール・広報宣伝活動、河川美化啓発看板設置・補修などの環境保全監視啓発活動
- ゲンジボタルの幼虫の放流などの体験学習 など



### ◎役割分担

行政	協働相手
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に関する助言</li> <li>・広報車を使用しての広報宣伝活動の支援</li> <li>・事務局として庶務事務の執行</li> <li>・河川美化団体助成金支出【事例 No. 22】</li> <li>・河川愛護活動報償金支出【愛知県】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川草刈清掃</li> <li>・河川パトロール</li> <li>・河川美化広報宣伝活動</li> <li>・河川美化啓発看板設置・補修</li> <li>・蛍幼虫の放流など</li> </ul>

### ◎協働の成果

- 協働意識が強まり、地域コミュニティの強化につながっている。
- 自然愛護や環境保全などの意識が強くなり、地域愛に結びついている。
- 児童、生徒を包含する活動であり、教育的にも優れた活動である。
- 行政が関与することにより、助言やノウハウを活用でき、事業成果が上がっている。
- 地域内である程度の合意形成が図られているため、事業が円滑に進んでいる。

### ◎協働の課題

- 今後、活動内容を拡大していくとなると、経費や労力がかさむ。
- 総代会や小中学校、蛍保存活動団体などが中心となり活動しているが、地域住民全体まで意識を浸透させていくことが困難。

# 鹿乗川流域の清掃と環境保全監視啓発活動

## 実施主体

【行政】 市民生活部矢作支所

【協働相手】 鹿乗川を美しくする会

●分野 環境保全

●期間 昭和 59 年度～

●形態 事業協力

●予算 平成 24 年度：0 円 平成 25 年度：0 円

事例のポイント!!：「次の世代に清らかな流れ」の主旨に賛同する流域住民が河川環境の保全を図る

## ◎協働に至る経緯と背景

鹿乗川を美しくする会は、鹿乗川及び矢作地区水路を美しくするため、地域住民が一体となって市民運動を展開し、自然環境保全を図ることを目的として、昭和 59 年 7 月 4 日に矢作東学区、矢作南学区、矢作西学区、矢作北学区、北野学区の各町総代、社教委員、生産組合、衛生委員、明治用土地改良区総代、婦人代表、各種団体などの組織をもって発足しました。人々に潤いとやすらぎを与えてくれる河川や緑を保全するために鹿乗川を美しくする実践項目が決議され、それに従い河川美化活動を行っています。

河川環境の保全という地域課題を解決するための地域活動が今後も継続していくために、市が事業協力を行うこととなりました。本会の事務局を務めています。

## ◎事業内容

- 鹿乗川堤防の一斉草刈り、空缶、紙くずなどの清掃を全町一斉に行う。
- 美しくする会常任理事などによる河川パトロール



## ◎役割分担

**行政**

- ・関係者との連絡調整・活動に関する助言
- ・事務局として庶務事務の執行
- ・河川美化団体助成金支出【事例 No. 22】
- ・河川愛護活動報償金支出【愛知県】

**協働相手**

- ・流域の草刈清掃活動（昭和 60 年から毎年 6 月の第 1 日曜日に実施）
- ・流域の環境保全パトロール

## ◎協働の成果

- 地域住民が一斉に草刈りを行うことで住民の連帯感が高まった。
- 清流を取り戻し、河川環境を保全する意識が高まった。
- 草刈りを行うことで、ゴミの不法投棄の抑止と地域の防犯抑止につながった。

## ◎協働の課題

- 鹿乗川を美しくする会（町内会）が中心となって行っているが、草刈機を所持する人も減少し、活動時間が伸びている。

実施主体	【行政】 環境部環境保全課
	【協働相手】 乙川を美しくする会、伊賀川を美しくする会、菅生川を美しくする会、鳥川ホテル保存会、岡崎市漁業協同組合、男川漁業協同組合
●分野 環境保全	●期間 平成 20 年度～
●形態 事業協力	●予算 平成 24 年度：161 千円 平成 25 年度：37 千円

### 事例のポイント!!：乙川に関連する各団体の相互理解、協働活動による乙川流域の活性化

#### ◎協働に至る経緯と背景

額田町との合併により、乙川流域がすべて岡崎市に含まれることとなったのを機に、平成 20 年に岡崎市水環境創造プランを策定し、水環境の将来のあるべき姿とその実現に向けた取組を取りまとめています。乙川サミットは水環境創造プランの重点施策の一つとして、乙川流域全体の環境活動を活性化するため、乙川上下流域の関係団体に呼びかけ平成 20 年度から毎年 1 回開催しています。

#### ◎事業内容

- 平成 20 年度から平成 23 年度までは、乙川流域に関係する団体が集まり、各団体の活動や事業の紹介、テーマに沿った意見交換を行った。第 1 回は「乙川の水はきれいか」をテーマに会議を、第 2 回は「豪雨から水循環を考える」をテーマに、洪水対策を水循環の視点から捉えるシンポジウムを、第 3 回は「流域の自然」をテーマに会議を行った。第 4 回は、「行動する乙川サミットへ、まず一步を！」をテーマに、乙川サミットの関係団体の行動計画を策定した。
- 平成 24 年度は、平成 23 年度に定めた行動計画に基づいて乙川上流の森林の保全活動を行った。



#### ◎役割分担

行政	・ 関係団体との連絡調整 ・ 会議などの開催	協働相手	・ 行動計画の実行 ・ 今後の乙川サミットの方向性、方針などの意見提言
----	---------------------------	------	--

#### ◎協働の成果

- 会議で各団体の活動紹介や意見交換を行ったり、協働による森林保全などの活動を通じて各団体相互の理解が深まった。
- 自分の団体の地域だけでなく、乙川流域全体の問題にも関心が高くなった。

#### ◎協働の課題

- 乙川流域をより活性化するために、参加団体や活動範囲の拡大、協働イベント開催などの手法を考える必要がある。

# 伊賀川流域の清掃と環境保全活動

## 実施主体

【行政】 環境部環境保全課

【協働相手】 伊賀川を美しくする会

●分野 環境保全

●期間 昭和 47 年度～

●形態 事業協力

●予算 平成 24 年度：0 円 平成 25 年度：0 円

事例のポイント!! : 「次の世代に清流を」をスローガンに地域住民が一体となり保全活動

## ◎協働に至る経緯と背景

岡崎市は、伊賀川を始め多くの一級河川が流れています。しかし、生活環境の変化に伴って、手付かずのまま放置され近づくこともままならない河川が増加していました。そこで、昭和 47 年に伊賀川流域 6 学区 35 町内（平成 25 年現在は 33 町内）の住民で伊賀川を美しくする会が組織され、毎年伊賀川の一斉清掃を行っています。

このような公共性の高い活動を会が今後も継続していくために、行政が連携を図り、支援をするために事業協力を行うこととなりました。現在は、総会、理事会、一斉清掃、川まつり、伊賀川フォト散策などの補助、助成金の交付などの支援を行っています。

## ◎事業内容

●伊賀川一斉清掃の開催【毎年 6 月第 1 日曜日開催】

●伊賀川河川パトロールの開催

●伊賀川川まつりの開催【毎年 7 月下旬開催】

●フォト散策、フォトコンテストの実施【毎年 3 月実施】



## ◎役割分担

### 行政

- ・関係者との連絡調整
- ・報道機関への情報提供
- ・会議録まとめなどの庶務
- ・河川美化団体助成金支出【事例 No. 22】
- ・河川愛護活動報償金支出【愛知県】

### 協働相手

- ・一斉清掃などのイベントの主催
- ・総会、理事会などの開催
- ・関係者（管理者）との連絡調整

## ◎協働の成果

- 一斉清掃を行うことで、伊賀川流域の定期的な環境の保全を行うことができている。
- 川まつり、フォト散策などのイベントを行うことで、市民・子どもの河川への興味、関心を向上させることができるとともに、伊賀川にふれあう機会を提供できた。

## ◎協働の課題

- 伊賀川の改修工事が進む中、今後、親水性の向上のための活動を考える必要がある。

# 菅生川流域の清掃と環境保全活動

## 実施主体

【行政】 環境部環境保全課

【協働相手】 菅生川を美しくする会

●分野 環境保全

●期間 昭和 48 年度～

●形態 事業協力

●予算 平成 24 年度：0 円 平成 25 年度：0 円

**事例のポイント!!：美しい菅生川の流を子孫に受け継ぐため地域住民とともに保全活動**

## ◎協働に至る経緯と背景

岡崎市は、菅生川を始め多くの一級河川が市内を流れています。しかし、高度経済成長を機に生活環境は大きく変化し、その反動として川の汚染が進んだため、「このままでは、父祖から受け継いだ美しい菅生川の流を子孫に残すことができない」との考えから、昭和 41 年以降、菅生川流域の住民によって清掃活動が毎年開催されるようになり、その後、昭和 48 年に流域 6 学区の住民によって菅生川を美しくする会が結成されました。結成後、一斉清掃や放流されていた鯉の「ミカちゃん」をみんなで大事にするなどをして菅生川の自然環境の保全を行ってきました。

こうした公共性の高い活動を会が今後も実施できるように、行政が事業協力をする事となり、現在は一斉清掃の補助や助成金の交付などの支援を行っています。

## ◎事業内容

●菅生川一斉清掃の開催【毎年 9 月第 2 日曜日開催】

●菅生川河川パトロールの開催



## ◎役割分担

行政	協働相手
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者との連絡調整</li> <li>・報道機関への情報提供</li> <li>・会議録まとめなどの庶務</li> <li>・河川美化団体助成金支出【事例 No. 22】</li> <li>・河川愛護活動報償金支出【愛知県】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉清掃などのイベント開催時の人員の要請</li> <li>・総会、理事会などの開催</li> <li>・関係者（管理者）との連絡調整</li> </ul>

## ◎協働の成果

- 一斉清掃を行うことで、菅生川流域の定期的な環境の保全を行うことができた。
- 草刈りを地域、各種団体、事業所ぐるみで行うことで、地域住民の河川への興味、関心を高めることができた。

## ◎協働の課題

- より多くの人々が活動に興味を持てるよう、活動内容の周知に努める必要がある。

## 実施主体

【行政】 環境部環境保全課

【協働相手】 8河川美化団体（青木川、伊賀川、大井野川、乙川、霞川、鹿乗川、菅生川、寺前川）

●分野 環境保全

●期間 平成15年度～

●形態 補助

●予算 平成24年度：800千円 平成25年度：700千円

## 事例のポイント!!：公共性の高い活動の活発化を促進できる

## ◎協働に至る経緯と背景

岡崎市には多くの河川が流れています。それらの河川では、流域町内会を中心に組織された河川美化団体が自発的に美化活動を行っています。そうした河川美化団体の公共性の高い地域活動が活発かつ継続的に行われるように、必要な経費に対して補助を行うこととなりました。

## ◎事業内容

●河川美化活動（清掃、パトロールなど）

各団体の工夫により流域の住民、幼稚園・小中学校、事業所を巻き込んだ清掃の実施、河川美化啓発のための看板の設置、パトロールの実施、植樹、魚・ホタルの放流、川沿いの散策会などが活発に行われている。



## ◎役割分担

## 行政

・補助金の支出

## 協働

## 相手

- ・一斉清掃などの開催
- ・総会、理事会などの開催
- ・関係者との連絡調整

## ◎協働の成果

- 清掃などを行うことで、行政だけでは手が行き届かない各河川流域の定期的な環境の保全を行うことができた。
- 清掃を地域ぐるみで行うことで、地域住民の河川への興味、関心を高めることができた。

## ◎協働の課題

- より多くの人々が活動に参加できる体制づくりを進める必要がある。

## 実施主体

【行政】 土木建設部河川課

【協働相手】 河川愛護活動団体（平成 24 年度実績：17 団体）

●分野 環境保全

●期間 平成 14 年度～

●形態 補助

●予算 平成 24 年度：447 千円 平成 25 年度：447 千円

## 事例のポイント!!：私たちの川は、私たちの手で美しく

## ◎協働に至る経緯と背景

岡崎市が管理する河川の草刈り・ゴミ拾いをすべて業者委託することは、予算的に限界があります。どうしても地元住民の協力がないと河川管理（草刈りなど）が成り立たないため、大柳町、本宿町東町、山綱一区、大平西町、洞町、上衣文町、大幡町、鶴巣町、羽栗町、若松栄四丁目、香山自彊会、鉢地町、池金町、米河内町、桑谷町、小呂町、舞木一区など地元町内会を中心に設立された河川清掃などに取り組む河川愛護活動団体に協力をいただくことが必要になります。

そこで、平成 14 年度に市予算で河川愛護活動報奨制度を設け、河川愛護団体に対する支援を開始しました。（愛知県の管理河川については、平成 13 年度以前から県予算で報奨金制度はありました。）

## ◎事業内容

●河川愛護団体の岡崎市管理河川の草刈り及びゴミ拾いに対し、報告書を提出していただき、予算の範囲内で報奨金を支給している。

●報奨金は 10 人以上で組織された河川愛護活動団体が支給対象となる。



## ◎役割分担

## 行政

- ・河川愛護活動報告書の受付
- ・報奨金支給などの事務手続

協働  
相手

- ・岡崎市管理河川の草刈り及びゴミ拾いなど清掃活動
- ・河川愛護活動報告書等書類の作成及び提出

## ◎協働の成果

- 平成 24 年度の活動実績として、岡崎市管理河川では、17 団体延べ 4,002 人の参加があった。
- 市内の愛知県及び岡崎市管理河川が美しく保たれている。
- 地元住民の河川への愛着や関心が生まれた。
- 業務委託と比較して、公費の支出を低く抑えられている。

## ◎協働の課題

- 河川愛護団体の中の一部団体で高齢化が進んでおり、参加者の確保が難しくなっている。



# 鳥川ホタル保存会

[ホーム](#)   [基本情報](#)   [問い合わせ](#)



設立 平成6年5月

会員数 60名

## 連絡先

岡崎市ホタル学校内  
岡崎市鳥川町字小デノ沢5番地1  
TEL 0564-82-3027

## 活動概要

ホタル保護を原点とした水環境保全活動

- ・ホタル保護育成を図るための環境整備
- ・平成の名水百選の維持管理
- ・水の源を巡る登山道の整備
- ・ホタルまつり(6月)、山歩きイベント(10月)等の啓発イベントの開催

## 鳥川町の特徴

- ・6月には約1000匹の天然のゲンジボタルが舞う
- ・平成の名水百選「鳥川ホタルの里湧水群」
- ・四季折々の風景(里山)
- ・ホタル学校(旧鳥川小学校の校舎を活用・平成24年4月オープン)

## 鳥川ホタル保存会ホームページ

<http://www.oklab.ed.jp/tokkawa/>

## ホタル学校ホームページ

[http://www.morinoeki.jp/hotaru\\_gakkou/index.html](http://www.morinoeki.jp/hotaru_gakkou/index.html)

# ほたるの里 とっかわ

鳥川ホタル保存会連絡先

〒444-3614  
岡崎市鳥川町小デノ沢1  
Tel: 0564-82-3027

0163577

2006.02.08 start



当ホームページは、旧鳥川小学校（平成22年3月閉校）から鳥川町へ引き継がれました

## 石仏めぐり地図



拡大図の石仏名をクリックすると写真と解説が見られます。

[PDF \(印刷用\)](#)

[一覧表](#)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平17総複、第814号）

## イベント情報はこちら

## ホタルの数情報はこちら

## ふるさとマップ

A面 B面 C面

## 鳥川へのアクセス

ありがとう 鳥川小学校

## 閉校記念誌

## 山歩きの地図



拡大図の山頂名や項目などをクリックすると写真が見られます。

[PDF \(印刷用\)](#)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平17総複、第814号）

## 猪垣・荒神木めぐり地図



拡大図の猪垣・荒神木名をクリックすると写真が見られます。

[PDF \(印刷用\)](#)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平17総複、第814号）

## 鳥川小児童による最後の活動発表



## 電子版とっかわの里

鳥川の風土と文化を紹介



「とっかわの里」「続とっかわの里」が電子版で複製



南山大生との  
心の交流6年間



平成17年度  
卒業記念壁画



平成20年度  
こどもホタルレンジャー  
環境大臣賞 受賞！！



平成21年度  
こどもホタルレンジャー  
特別賞 受賞原稿



## ホタル案内図



## 鳥川ふるさとファン募集

申込書をダウンロードして鳥川ホタル保存会事務局まで郵送にてお申し込み下さい。  
[鳥川ふるさとファン申し込み書](#)



## 「ホタルの光る川」

鳥川小学校のホタル保護活動を  
紹介した絵本  
佼成出版社刊 定価 (1470円)

## 加茂式黒炭窯

鳥川の地に40年ぶりに炭焼き復活

## 鳥川全24山制覇

起 承 転 結

## 鳥川オリジナル和太鼓曲

## 鳥川ほたるの鼓

とっかわ  
**鳥川ふるさとファン**  
になってください

天然のホタルが自生する鳥川の自然環境  
を守る活動を応援してくれる人が  
「鳥川ふるさとファン」です。

**鳥川ふるさとファンの心掛け**

- ・ちよくちよく鳥川を訪れて自然を見守ってください。
- ・鳥川に来たら地元の人と挨拶を交わしてください。
- ・日頃から自然にやさしい生活を心がけてください。

ホタルの時期に、「ホタルの宿」  
を訪れて、鳥川の自然を守る  
活動へ芳志をいただいた方には、  
鳥川ふるさとファンの印(しるし)  
を差し上げています。

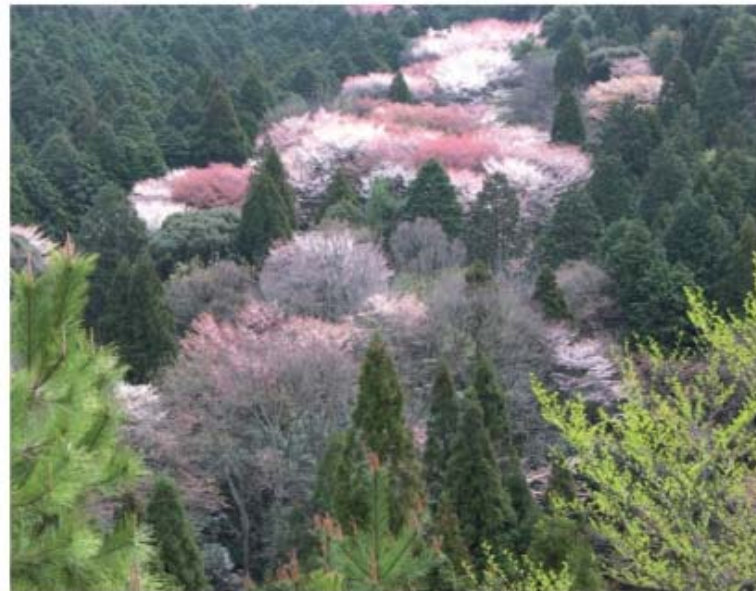


「鳥川ふるさとファン」の登録をお願いします。  
鳥川小HPに申し込み用紙があります。

鳥川を訪れたあなたの感想をお便りでお寄せください。

宛て先 〒444-3614 岡崎市鳥川町字岩塚田  
鳥川集会所内「鳥川ホタル保存会」行

鳥川の自然と、人々の笑顔が  
皆さんをお待ちしています。



とっかわ  
**鳥川ホタルの里 ふるさとマップ**

作成/鳥川ホタル保存会

鳥川のホタルについてもっと知りたい人は  
鳥川小学校ホームページをご覧ください。  
<http://www.oklab.ed.jp/tokkawa/>

鳥川ホタルの里は  
「おかざき水とみどりの森の駅」  
の育成地区に指定されています。



森の駅についてのお問合せは

**岡崎市 環境部 自然共生課**

〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地  
電話 0564-23-6921  
FAX 0564-23-6536

**森の総合駅**

電話 0564-82-2511  
FAX 0564-82-2951  
ホームページ <http://www.morinoeki.jp/>

とっかわ  
**鳥川ホタルの里**

**ふるさとマップ**



とくべつなもの  
なにもない  
でも、たいせつなものは  
すべてある



# とっかわ 鳥川ふるさと自慢

## “ホタル”自慢！～神秘的な光の乱舞



鳥川は天然のゲンジボタルが棲息する貴重な流域です。夏には、神秘的なホタルの光が乱舞する、幻想的な風景も見られますよ！(C-1～C-2～B-3、D-2)  
ホタルの棲息環境を守っているのは、鳥川ホタル保存会と鳥川小学校の児童たちです。

▲幻想的なホタルの乱舞

## “見晴らし”自慢！～三河湾が一望のもと



鳥川の里を囲む小高い山々は、ハイキングにぴったり。愛宕山(B-2)、京ヶ峯(B-2)、ホド田山の山頂(A-4)からは、三河湾が一望のもと！  
水晶がとれると言われている水晶山(D-1)には、かつてツチノコを目撃したという伝説も。あなたも出会えるかも？！

▲水晶山から三河湾への眺望

## “おいしい水”自慢！～平成の名水百選



平成20年6月、環境省より「鳥川ホタルの里湧水群」が平成の名水百選に指定されました。  
延命水(D-2)産湯の滝・ふないどの水(C-2)大岩の水(B-2)庚申の水(B-3)などがあります。産湯の滝は、戦前まで産湯に使っていました。森から湧き出るおいしい清水に出会ってください。

▲「延命水」と「ふないどの水」

## “かわいい石仏”自慢！～脈々と続く信仰



鳥川の里を歩くと、いたるところで“かわいい石仏”と出会えます。石仏には、季節の花が供えられ、自然と一体となって神仏を崇める昔ながらの里の営みが残っています。数えると120体もあります。どんな願いを抱いて置かれたのかを考えながら、心安らぐ里の風景をお楽しみください。

▲道端に祀られている石仏

ゲンジボタルの「ゲンさん」



# とっかわ 「鳥川ホタルの里」見どころ散策マップ

ホタルのようちゅう「ホタチューくん」



忘れかけていた  
日本のふるさどが  
“とっかわ”で  
きっと見つかる

## みどりの風



## せせらぎの音

## 空の青さ



## ふるさとの匂い



## 人のぬくもり



## おいしい水と米



## とっかわ ホタル親賞のお作法

by とっかわ弁

❦その一、  
短い命のホタルだでのん。  
持ち帰らんとくれん。

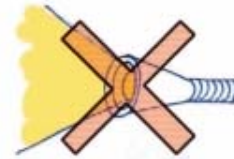


鳥川から  
連れてっちゃん  
わんでよ

❦その三、  
きれいな水だでのん、  
ゴミは持ち帰っとくれん  
かん。



❦その二、  
大きな明かりは遠慮し  
て、静かに見守ってお  
くれましょ。



実は幼虫も上陸する  
ときお尻が光ります。

成虫は草のつゆを飲む  
だけで、一週間ほど  
しか生きられません。

## 鳥川のホタル保護活動

鳥川小学校の児童と地元の  
鳥川ホタル保存会の  
人々は、ホタルの幼虫の  
餌になるカワニナを増や  
したり、川の清掃や川沿  
いの間伐など、ホタルが  
自生する自然環境を守る  
活動を続けています。



鳥川沿いの間伐



鳥川の清掃や川調べ



ホタル保護の看板づくり

ゲンジボタル  
の背中には黒  
い十文字の印  
があります。



## ホタル 豆知識



ホタルの幼虫  
はカワニナと  
いう貝の仲間  
を食べて成長  
します。

## ホタル観賞Q&A

**ホタルはいつごろ出ますか？**  
気候で変わりますが、5月下旬～7月上旬に見られます。6月中旬が見ごろ。時刻は暗くなれば見られますが、おおよそ午後8時～9時ごろが見ごろでしょう。

**ホタルがよく飛び日は？**  
雨天でなく、風が弱くて、湿度の高い日がいいです。雨の日はあまり飛びませんが、木や草の中で光っているのは見られます。

**駐車場はありますか？**  
鳥川インフォメーションコーナーには駐車場があります。また、路上で停車する場合は川沿いにとめないでください。ホタル観賞や交通の妨げになります。

## 鳥川のゲンジボタルの一生

